

# 小平市下水道プラン進捗状況

《平成 23 年度実績》

～快適な生活環境を支える下水道～

平成 24 年 7 月

小 平 市

## 1 小平市下水道プラン進捗状況の公表について

小平市では、下水道事業をとりまく環境及び下水道が抱える課題を踏まえ、中・長期的な視点に立った今後の下水道事業のあり方（方向性）を示すことを目的として、下水道における総合的な計画「小平市下水道プラン」（計画期間：平成 23 年度～平成 32 年度）を平成 22 年度に策定しました。

このたび、小平市下水道プランに基づく施策の平成 23 年度の進捗状況について取りまとめましたので、公表いたします。

なお、今年度は施策の進捗状況の公表のみ行います。施策の進捗状況に関する評価等については、前期期間（平成 23 年度～平成 27 年度）の終了後の平成 28 年度に行います。



## 2 小平市下水道プランの体系

小平市下水道プランの基本理念「快適な生活環境を支える下水道」を実現するための基本方針及び施策の体系図を以下に示します。(★は重点施策を示します。)



### 3 各施策の進捗状況《平成 23 年度実績》

小平市下水道プランに基づく事業の平成 23 年度の実績数値等を以下に示します。

基本方針	施策		前期計画期間 (H23~H27)	平成23年度 実績数値等 (単年度・累計 <sup>※</sup> )	内 容
I 環境に配慮したまちづくり	1	(1) 土地区画 整理事業 <sup>※</sup> や 道路整備等の 開発に併せた 管きよ整備	目標 開発に併せた 遅滞ない整備	整備路線 <b>1 路線</b>	都道 133 号線拡幅に伴う新設(東京都協定工事)
		目標数値等 整備路線 : 3 路線			
	汚水 処理 対策	(2) 未接続家 屋の解消(下 水道への接続 依頼)	目標 下水道への接 続促進	水洗化率 <b>98.9%</b>	水洗化率(%) = 下水道で汚水を処理している 人口 / 処理区域内人口 × 100 (平成 22 年度末水洗化率 : 97.3%) 平成 23 年度に実施した未水洗実態調査に基づ き、水洗化率を算出した。
2	雨水浸透施設 の設置	目標 雨水浸透ます <sup>※</sup> の設置	雨水浸透 ます設置数 <b>101 基</b>	合流式下水道改善工 事箇所 : 小川町 1~2 丁目、小川東町 3 丁目、 美園町 1 丁目、学園西町 3 丁目、上水本町 5 ~6 丁目、上水南町 4 丁目	
合流式下水道 <sup>※</sup> 改善対策★		目標数値等 設置基数 : 209 基 (平成 25 年 度までに設 置)			

※累計数値は、下水道プラン計画初年度の平成 23 年度からの数値と計画期間以前からの数値がある。

※★は重点施策を示します。

- 土地区画整理事業 都市計画区域内の土地について、公共施設の整備改善及び宅地の利用促進を図るため行われる土地の区画形質の変更及び公共施設の新設または変更に関する事業をいう。
- 合流式下水道 汚水及び雨水を同一の管きよで排除し、処理する方式。分流式に比べ管路施設の建設が容易(経済的・効率的)である一方、雨天時に汚水の一部が公共用水域へ未処理で排出されるため、汚濁負荷量、病原性微生物等による公衆衛生上の安全性、きょう雑物による景観に関する課題がある。(昭和 45 年 12 月の下水道法改正以降に策定された下水道計画は、分流式下水道により整備が行われている。)
- 雨水浸透ます 雨水ますの底部に穴を開け、その周囲に砂利を敷き並べ、そこから雨水を地下に浸透させるもの。

基本方針	施策		前期計画期間 (H23~H27)	平成23年度 実績数値等 (単年度・累計※)	内 容	
I 環境に配慮したまちづくり	3 雨水浸透対策	雨水浸透施設の設置促進	目標 関係各課等との連携による設置促進	浸透量 <b>130m<sup>3</sup>/hr</b>	I-2「合流式下水道改善対策」による	
			目標数値等 設置浸透量：約270m <sup>3</sup> /hr (平成25年度までの下水道課対策浸透量)			
	4 資源の有効利用	(1) 雨水貯留施設の設置促進	目標 関係各課等との連携による設置促進	新規に建設する公共施設への雨水貯留施設の設置	雨水貯留施設設置数 なし	新規に建設した公共施設はなし。
			目標数値等			
		(2) 下水道資源(再生水※、下水汚泥建設資材等)の利用促進検討等	目標 再生水の利用継続及び建設資材等の利用促進検討		管渠築造工事に汚泥焼却灰使用のヒューム管を一部工事現場で採用	設計上は汚泥焼却灰使用のヒューム管を使用するとしていたが、東日本大震災の影響で入荷が困難になり、一部の工事現場では通常のヒューム管を使用した。
	5 施設の適正管理	(1) 下水道台帳(電子化)等による施設管理	目標 システムの継続的な活用	管路調査成果の取り込み 補修・苦情履歴管理ソフト導入	維持管理ソフト導入	下水道台帳システムに、修繕や苦情情報等の履歴を記録・集計等を行う維持管理ソフト機能を追加した。
目標数値等						
	(2) 管きよのつまり、臭気対策の実施	目標 下水道への排出に対するPR及び定期的な清掃の実施	清掃回数 10件/年	清掃回数 4件	小川町1丁目、たかの台、花小金井1丁目 ※清掃回数とは、事業所等からの排水を起因とする管きよのつまりを、公費で清掃し解消した回数となる。なお、今年度は目標数値である10件以内を達成した。	

※累計数値は、下水道プラン計画初年度の平成23年度からの数値と計画期間以前からの数値がある。

再生水 高度処理等によって、種々の再利用に適するようになった下水。

基本方針	施策		前期計画期間 (H23~H27)	平成23年度 実績数値等 (単年度・累計※)	内 容
	II 防災・危機管理 1 浸水対策★	(1) 未整備地区における雨水管きよ整備	目標 浸水被害歴がある地区の整備  目標数値等 浸水被害歴地区整備進捗率 : 86% 雨水管きよ整備率 : 15.9%	浸水被害歴地区整備進捗率  3%・80%	雨水管渠築造工事：5 案件発注 工事箇所：花小金井3丁目、4丁目、5丁目  浸水被害歴地区整備進捗率(%) = 浸水被害歴地区雨水管きよ整備済み区域面積 / 浸水被害歴地区雨水管きよ整備対象区域面積 × 100 (平成22年度末 浸水被害地区雨水管きよ整備進捗率：77%)  雨水管きよ整備率(%) = 雨水管きよ整備済み区域面積 / 雨水管きよ整備対象区域面積 × 100 (平成22年度末 雨水管きよ整備率：14.1%)  雨水管きよ整備対象区域面積については、雨水管きよの未整備地区(分流式下水道※区域) 654.6ha を対象として算出しています。
(2) 雨水貯留浸透施設の設置促進		目標 関係各課等との連携による設置促進	—	対象施策：「I-2 合流式下水道改善対策」、「I-3 雨水浸透対策」、「I-4 資源の有効利用」を参照	
(3) 市民等との連携(被害軽減に対する取り組み)		目標 関係各課等との連携による浸水に対する情報提供や水防演習等の継続的な実施  目標数値等 水防演習等の実施回数 : 3回/年	水防演習等の実施回数  2回	H23.10.3 応急給水訓練 H23.10.29 東京都及び小平市・西東京市・武蔵野市・小金井市合同の総合防災訓練 例年実施している水防訓練は震災の影響で中止	

※累計数値は、下水道プラン計画初年度の平成23年度からの数値と計画期間以前からの数値がある。

※★は重点施策を示します。

#### 分流式下水道

汚水と雨水を別々の管きよ系統で排除する方式。汚水のみを下水処理場に導く方式であるため雨天時に汚水を公共用水域に未処理で放流することがないので、水質汚濁防止上有利である。



基本方針	施策		前期計画期間 (H23~H27)	平成23年度 実績数値等 (単年度・累計※)	内 容
	II まちづくり書の内容	2 地震対策	重要な管きよの耐震化	目標 災害対策本部や医療拠点からの排水を受ける小口径管きよの耐震化	
目標数値等			地震対策対象路線における耐震化達成率：48%		
3 施設の老朽化対策★		(1) 計画的な点検・調査の実施	目標 布設年次が古い地区から順次実施	点検・年間調査延長 73km	下水道管路施設調査業務委託：1案件発注 委託箇所： 分流地区(一部合流地区あり) 汚水管:57km 分流地区 在来管:16km 合計 73km  ～その他[参考]～ 取付管テレビカメラ調査業務委託：1案件発注 汚水管：665箇所 雨水管：294箇所 取付管テレビカメラ調査(直営) 汚水管：330箇所 雨水管：70箇所  取付け管とは、汚水榭(公設榭)または雨水榭と下水道本管を接続するための管きよのこと。
			目標数値等		
(2) 施設の長寿命化*		目標 長寿命化計画(基本構想及び事業計画)の策定	平成25年度基本構想策定に向け準備中	国土交通省及び東京都主催の各勉強会に参加	
		目標数値等			平成25年度：基本構想 平成26年度：事業計画

※累計数値は、下水道プラン計画初年度の平成23年度からの数値と計画期間以前からの数値がある。

※★は重点施策を示します。

#### 長寿命化

時間とともに老朽化していく施設の予防保全的な管理及び管きよ内面の被覆あるいは部分取替等により、施設の耐用年数を延ばし、機能を維持すること。長寿命化を効率的に行うため対策内容、規模、期間等を定める計画を「長寿命化計画」、施設の延命化を図り、かつ、ライフサイクルコストが安価となる対策のことを「長寿命化対策」という。

基本方針	施策		前期計画期間 (H23~H27)	平成23年度 実績数値等 (単年度・累計※)	内 容
	Ⅲ 環境意識が高まることへの取り組み	1 環境学習の継続	(1) 環境に対する情報発信及び市民意見聴取	目標 下水道事業への取り組みについてのPRの促進及び市民意見聴取 目標数値等 「ふれあい下水道館ホームページ」の定期的な更新 :12回/年(月1回更新)	ホームページの更新回数 18回
(2) 「ふれあい下水道館」の活用			目標 イベントの開催や展示の実施 目標数値等 イベント等開催回数 :12回/年(月1回開催)	イベント等開催回数 26回	玉川上水に咲く野草展 <sup>※</sup> 初展(H23.4.29~5.15) 下水道展 出展(H23.7.26~29) 小平環境の会 <sup>※</sup> 初展(H23.8.6~28) 下水道デーイベント(H23.9.10) 玉川上水にかかる橋の写真展(H24.2.4~26) 菜の花 <sup>※</sup> 咲き活動展(H24.3.10~4.8) 学習講座 14回(原則毎月第3土曜日(夏休み2回)) 特別講和会 6回(H23.10から月1回) 参加者人数:合計5,033人

※累計数値は、下水道プラン計画初年度の平成23年度からの数値と計画期間以前からの数値がある。



基本方針	施策		前期計画期間 (H23~H27)	平成23年度 実績数値等 (単年度・累計※)	内 容
	M 下水道経営基盤の強化	1 経営の効率化・健全化	(1) 計画的な 財政運営	目標 経営の効率化	公債費の残高 <b>133 億円</b>
目標数値等 公債費の残高 ：90億円					
2 収入の適正化		(2) 地方公営 企業会計※への 移行検討	目標 地方公営企 業会計への 移行検討	検討中	地方公営企業会計への移行に関する国からの情報や近隣自治体の動向に注視するとともに、課内で移行の問題点等を検討した。
		(1) 未接続家 屋の解消(下 水道への接 続依頼)	目標 下水道への接 続促進による 下水道使用料 ※収入の増加	水洗化率 <b>98.9%</b>	水洗化率(%) = 下水道で汚水进行处理している人口 / 処理区域内人口 × 100 (平成22年度末水洗化率：97.3%)  平成23年度に実施した未水洗実態調査に基づき、水洗化率を算出した。
目標数値等 水洗化率 ：100%					
		(2) 下水道使 用料金適正化 の検証	目標 経費回収率 (汚水処理 費回収率)の 改善	経費回収率 (汚水処理 費回収率) <b>95.4%</b>	経費回収率(汚水処理費回収率)(%) = 下水道使用料収入 / 汚水処理費 × 100 (平成22年度末 経費回収率(汚水処理費回収率)：92.4%)  経費回収率(汚水処理費回収率)とは、汚水処理に要した費用に対する下水道使用料の割合を表しており、下水道事業の経営状況を表す数値として用いられる。
	目標数値等 経費回収率 (汚水処理 費回収率) ：100%				

※累計数値は、下水道プラン計画初年度の平成23年度からの数値と計画期間以前からの数値がある。

地方公営企業会計 独立した企業として経営を成り立たせていく会計制度。これにより財政の適正化、使用料金の最適化等へ結びつき下水道基盤強化に直接繋がる効果が期待される。

下水道使用料 下水道の維持管理費等の経費に充てるため、下水道管理者が条例に基づき使用者から徴収する使用料金のこと。

小平市下水道プラン進捗状況  
《平成 23 年度実績》

平成 24 年 7 月発行

編集・発行 小平市環境部下水道課

〒187-8701

小平市小川町二丁目 1333 番地

電話番号 (042)346-9560 (直通)

ファックス (042)341-9520

電子メール gesuido@city.kodaira.lg.jp

¥50